

## 第42回卒業証書授与式 PTA 会長祝辞

今日、制服のボタンをはずし、ネクタイをとれば皆さんは牧南生ではなくなります。

3年前、希望に溢れて入学したこの小牧南高校。

あっという間だったと思います。振り返ってどうでしたか？

君たちは成長しました。

時には、胸にとげが刺さり、なんで、どうして、と誰かに問いかけても答えは見つからず、「しょうがない」と自分に言い聞かせて過ごした日々もあったことでしょう。

私たち大人は、もがいている君たちの遠くのほうで、「もう少し頑張って、我慢して乗り越えて」としか言えなかった。

でもその声も思春期という風に吹かれて届かなくなった時、君たちは心を閉ざし始め、だんだん無口になっていった。

たぶん、一番わかって欲しいことは言葉にしなかった。

私たちはそれを上手に聞いてあげられず、時に突き放してしまうこともあった。許してください。でもどうか知っておいてください。

皆さんを育て、教え導き、また見守っている人は、自分のことでは泣けなくても、君たちのことでは心から泣けるんです。君たちのことなら、いくらでもがんばれるんです。

雨が降りだせば、傘は持っていったのか。宿題は出したのか、模試はどうだったのか、急に無口になれば、何かあったのか。

私たちが口うるさく言うのは、君たちを支え守りたいから、ただそれだけ。

先生方は、君たちが迷いながら過ごした高校生活を導いてくださいました。

目には見えなくても、いつも誰かがあなたのことを思っています。世界でたった一人の大切な人だから、君たちのありがとうには力があるんです。

君たちのその一言で、友達も、先生も、家族も、まわりのみんなが頑張れるんです。

「ありがとう」が人と人を繋ぎます。

そして、物や機械の中ではなく、人の中で笑うことができます。

君たちは生まれてから今日まで、一生懸命生きてきました。苦しみを一つ一つ乗り越え、仲間と励ましあいながら本当に頑張りました。そして、私たちに成長を見守る喜びをくれました。

君たちがいたから、私たちも笑えたし、泣けました。

ありがとう。

そして太陽のような笑顔をくれて、ありがとう。

卒業生の皆さん、私たちは君たちが大好きです。

だからこれから新しい道を歩き出す君たちを、いつでも信じて応援します。

人は心から感謝するとき、自然と頭が下がります。

どうか皆さんも、どんな小さなことでもいいから、自然に頭が下がり、そして下げてもらえるような、優しい人になってください。

卒業おめでとう。

そして頑張ってくれてありがとう。

卒業生の成長に感謝し、お祝いの言葉と致します。

令和六年三月一日

愛知県立小牧南高校 第42代 PTA 会長 藤田美穂